

ShinFuji Burner

ShinFuji Burner

製品仕様

サイズ:φ0.8×300mm
3本入り
銀含有量:56%
作業温度:650℃
引張強度:441N/mm²
(45kgf/mm²)

仕様

適応熱源



O2トーチ



プロパンバーナー



酸素アセチレンバーナー



パワートーチ

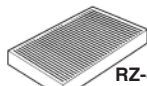


パワートーチ



RZ-300 サポートスタンド

母材の固定に最適、あらゆるバーナー作業でご利用になれます。



RZ-400 セラミックボード

耐火作業台としてあらゆるバーナー作業で、ご利用になれます。



RZ-400 カーボンプロテクター

耐火シート。カーボン繊維が直火及び伝熱から守ります。

関連商品

用途

- ・銀細工等の装飾品
- ・管楽器
- ・精密部品
- ・食品関係機器
- ・医療機器
- ・化学装置
- ・光学機械
- ・細かい(銅)(銅合金)(ステンレス)(鋼)製品/部品

注意

アルミ・チタンなどの金属のロウ付にはご使用になれません。

当社では鉛フリーハンダ、カドミウムフリーの銀ロウ等環境に優しい製品づくりに努めています。

商品に関するお問い合わせ、ご質問は下記までお願いします。
お客様係 TEL.0533-75-5000



紙 台紙 カバー PET

製造発売元
新富士バーナー株式会社
愛知県宝飯郡御津町御幸浜1号地1-3
http://www.shinFuji.co.jp/



4 953571 019079

仕上がりが白く美しく彫金作業に最適

※フラックスが必要です。銀ロウ用フラックス RZ-200を必ずご使用ください。

対象金属
鉄・真鍮
銀・銅
ステンレス
など
非対象金属
アルミニウム
チタンなど

人と環境に優しい
カドミウムフリー

※基本的な作業は、中面をご覧ください。

RZ-107

細工用

銀ロウ

難易度表示
易 ① ② ③ ④ ⑤ 難

製品特徴

精密部品・銀細工用
カドミウムフリーで最も低温タイプ

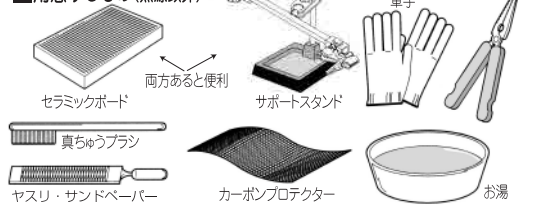
細工用 銀ロウ

RZ-107



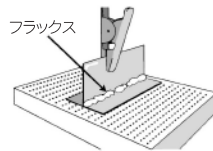
基本的な作業方法

■用意するもの(熱源以外)



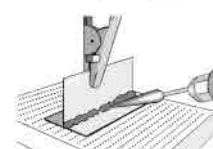
作業1

ロウ付面の汚れ、油分などを落とし、ヤスリ、サンドペーパーで磨き地肌をだします。ロウ付面にフラックスRZ-200を塗ります。「金属表面の酸化被膜を除去し酸化を防止しロウ材の流動性「ぬれ」を良くする為」



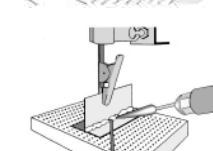
作業2

サポートスタンドを使って母材が動かないように固定し、バーナーでロウ付部分を加熱します。



作業3

フラックスの水分がなくなり、固まって再び液状になった後、ロウをさします。この時、ロウ材に直接炎を当てないようにします。



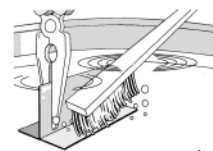
作業4

ロウが銀色に光り完全に流れたら炎をはなします。



作業5

ロウが固まり、まだ熱いうちにお湯に入れ真鍮ブラシなどで洗い、フラックスの残滓等を除去します。



上手にロウ付するコツ

- 1.母材の隙間が0.05mm~0.12mmの時、最高の強さが得られます。隙間が広いと弱くなります。
- 2.母材の大きさが異なる場合、必ず大きい方から先に加熱し、小さい方と同時に適温になるようにしてください。
- 3.炎を直接ロウ材にあてずに、母材を加熱し、その熱でロウを溶かしてください。
- 4.フラックスの残滓は完全に除去してください。不完全ですとサビや腐食の原因になります。

ロウ付:Q&A

Q:「バーナーを使ってロウ材は溶けてきているのですが玉のようになって流れませんどうしたらいいのですか?」

A:可能性として以下の原因が考えられます。

失敗の主な原因	対策
母材表面の汚れ	表面を磨き、地肌をだしてやり直す。
母材の加熱不足	火力の強いバーナーを使う。
ロウ材の直接加熱	母材を加熱し、母材の熱でロウを溶かす。
フラックス不足	フラックスを十分ぬりやり直す。

ロウ付失敗後、やり直す際は、母材に付いた黒い汚れ等を取り除き、表面を磨いて母材の地肌を出しフラックスを再度塗ってください。

用途で選べるロウ材シリーズ

- 一般用 銀ロウ / RZ-100
- 強力タイプ 銀ロウ / RZ-108
- アルミ硬ロウ / RZ-101
- 鉛フリーハンダ / RZ-109
- リン銅ロウ / RZ-102
- 粉末 銀ロウ / RZ-150
- アルミ溶剤 / RZ-103
- 粉末アルミロウ / RZ-151
- 万能ハンダ / RZ-106
- 粉末ハンダ / RZ-159
- 細工用 銀ロウ / RZ-107

使用上の注意



- 1.ロウ付作業の際は、やけど、火災に十分注意してください。
- 2.ロウ付作業中は必ず換気を行ってください。
- 3.フラックスを誤って口にした時はすぐに吐き出し、うがいをしてください。又、皮膚に付着した時は洗い流してください。
- 4.ロウ付作業後は、必ず手を洗ってください。
- 5.お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 6.ロウは、作業終了後乾燥した場所に保管してください。
- 7.他種のロウ材や金属と接触させて保管しないでください。

ロウ材に関するお問い合わせ、ご質問は下記までお願いします。

お客様係 TEL.0533-75-5000

ロウ付の方法について私がお説明します。中面をご覧ください。